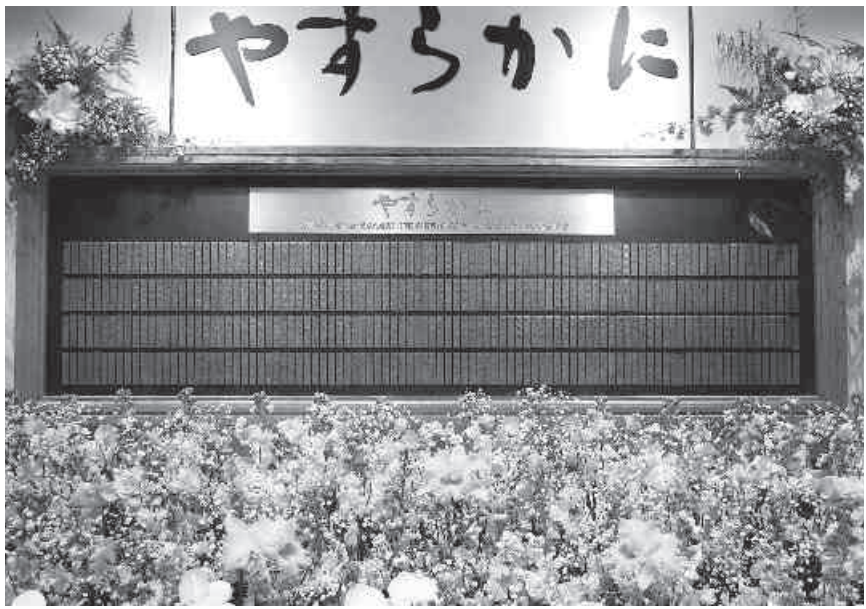


阪神・淡路大震災 児童・生徒、教職員 追悼の夕べ

子どもたちや志半ばで亡くなられた教職員のお名前が刻印された銘板。



(1月17日)

阪神・淡路大震災から14年目の1月17日。午後5時半から、兵教組はラッセホールで、犠牲となった児童・生徒、教職員の「追悼の夕べ」を開催。震災で亡くなった児童・生徒、教職員の名前が刻まれた銘板に、参加者300名が献花した。

神戸市立桂木小学校合唱団約50名の児童による追悼と復興の想いが込められた「幸せ運べるように」届けようこの歌を」が歌われ、子どもたちの思いのこもった歌声が響いた。全員での黙祷の後、山幸幸一兵教組委員長は銘板に向かい、「私たちは、『1・17を忘れず、教育の復興にとりくんでいく』決意のもと、毎年この日に、この祭壇でご遺族とともににお会いしている。震災は大変な大惨事だったが、人々は力を合わせ復旧・復興に立ち上がり、助け合い支えあって生きることのすばらしさ・大切さを学んだ。また、学校が避難所となったことを契機に、教職



青年部部長 小西 宏典

青年部活動の活性化を

1月18日に青年部教育実践講座(後期)がラッセホールでおこなわれ、県内各地から91名の青年教職員が集まった。



2008年度 青年部教育実践講座

全体会では、畑中通夫さん(兵庫教育文化研究所協力研究所員)から「子どもを中心とした人権教育をどうすすめるのか」と題した基調講演があった。



成功例だけでなく、悩みや失敗談を互いに語り合うことで、明日からの実践にむけて交流を深め、大きな成果を得

た。来てよかった」という積極的なものが多かった。

成功例だけでなく、悩みや失敗談を互いに語り合うことで、明日からの実践にむけて交流を深め、大きな成果を得た。

また、分科会では、身近な先輩教職員を講師に招き実践を学んだり、職場の様子などの議論を重ねたりしているところが多かった。

分科会は、前期講座と同じ参加者でおこない、自分が積み重ねてきた実践や子どもたちの様子についてリポートをもちより、実践交流や意見交流をおこなった。

「リポート作成は大変だったが、前期と同じメンバーだったので、やわらかい雰囲気の中で実践についての交流ができた」「職種、職種を超えた実践交流ができて、自分の視野がひろがった。来てよかった」と

社会や教育が危機的な状況にある今だからこそ、わたしたち青年教職員が集まり、教育実践をはじめ、子どもたちや職場の様子、悩みなどを語り合い、「目の前の子どもたちとどのような向き合っていくのか」職場のなかまどうつながる



ていくのか」を、より多くの場で真剣に議論することが大切。

自分自身の力量を高め、一人ひとりの子どもを大切にしたい」「来年度以降も続けていきたい」という声が多かった。

青年部教育実践講座(後期) 成功例のみならず、失敗談や悩みを語り合う

「リポート作成は大変だったが、前期と同じメンバーだったので、やわらかい雰囲気の中で実践についての交流ができた」

「目の前の子どもたちとどのような向き合っていくのか」職場のなかまどうつながる

自分自身の力量を高め、一人ひとりの子どもを大切にしたい」という声が多かった。

また、分科会では、身近な先輩教職員を講師に招き実践を学んだり、職場の様子などの議論を重ねたりしているところが多かった。

自分自身の力量を高め、一人ひとりの子どもを大切にしたい」という声が多かった。

また、震災当時芦屋市立潮見小に勤務していた瀧ノ内秀都さん(現/芦屋・宮川小)と、教子で当時小



追悼の夕べ

「一人ひとりに声をかける」「最後まで子どもの話をきく」「できるだけ子どもたちと遊ぶ」の3つを気配りし、「学校にいるときは、先生はいつもみんなのそばにいるよ」という気持ちで子どもたちに接していた。

震災後、学校に行けなかった2週間があったからこそ、再開後の学校は、震災前より楽しく感じた。

ひねれば水が出て、スイッチを押せば電気がつく。当たり前前の生活がたくさんの方々に支えられている。おかげさまの気持ちで、自分の出来ることをすれば、人の支えになり、自分の支えにもかえってくる。先ほどの3つの気配りも教師として当たり前のこと。でも、多忙な日々の中、私たちは忘れてしまう。震災後、声をかけたり、困った人がい

実践の語り継ぎや、同僚との実践交流をねらいとして、各支部・地区単位での教育実践講座の開催を提起している。実施した支部からの報告では、さまざまな工夫と「やってよかった」という感想があった。

実施した各支部・地区からは「やってよかった」「明日からの実践に生かしていきたい」「来年度以降も続けていきたい」という声が多かった。

は、マリリンとピアノのアンサンブルチーム「リバー」(高原良幸さん/神戸・竜が台小、兼松浩典さん/神戸・兵庫大開小、木原淳さん/神戸・御蔵小、高木陽子さん/神戸・高羽小)による「G線のアリア」など5曲が演奏された。

また、震災当時芦屋市立潮見小に勤務していた瀧ノ内秀都さん(現/芦屋・宮川小)と、教子で当時小

「一人ひとりに声をかける」「最後まで子どもの話をきく」「できるだけ子どもたちと遊ぶ」の3つを気配りし、「学校にいるときは、先生はいつもみんなのそばにいるよ」という気持ちで子どもたちに接していた。

震災後、学校に行けなかった2週間があったからこそ、再開後の学校は、震災前より楽しく感じた。

ひねれば水が出て、スイッチを押せば電気がつく。当たり前前の生活がたくさんの方々に支えられている。おかげさまの気持ちで、自分の出来ることをすれば、人の支えになり、自分の支えにもかえってくる。先ほどの3つの気配りも教師として当たり前のこと。でも、多忙な日々の中、私たちは忘れてしまう。震災後、声をかけたり、困った人がい

実践の語り継ぎや、同僚との実践交流をねらいとして、各支部・地区単位での教育実践講座の開催を提起している。実施した支部からの報告では、さまざまな工夫と「やってよかった」という感想があった。

実施した各支部・地区からは「やってよかった」「明日からの実践に生かしていきたい」「来年度以降も続けていきたい」という声が多かった。

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 山名 幸一
編集人 西嶋 保子
電話 050(3538)2346
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2009/1・21
No. 1733

2面

・学力調査結果に慎重・冷静な対応を
2008「全国学力・学習状況調査」
結果公表・活用状況アンケート結果
報告書より

「世代間交流による語り継ぎ」

「地震が生んだもの」
地震って怖い。けど先生の話を聞くと、地震を体験して色々なことを知ったんだ。いつも当たり前に出るものが出来なくなったりするけど、地震があったら出たこと色々分かったんだ。

人と防災未来センターの災害メモリアル2009で、「生き方は変わる」をテーマに3世代にわたる震災の語り継ぎの授業をしたときの様子を語ってくれた。

（要旨掲載）

震災当時 教師(大人)として

「一人ひとりに声をかける」「最後まで子どもの話をきく」「できるだけ子どもたちと遊ぶ」の3つを気配りし、「学校にいるときは、先生はいつもみんなのそばにいるよ」という気持ちで子どもたちに接していた。



瀧ノ内さん



林さん

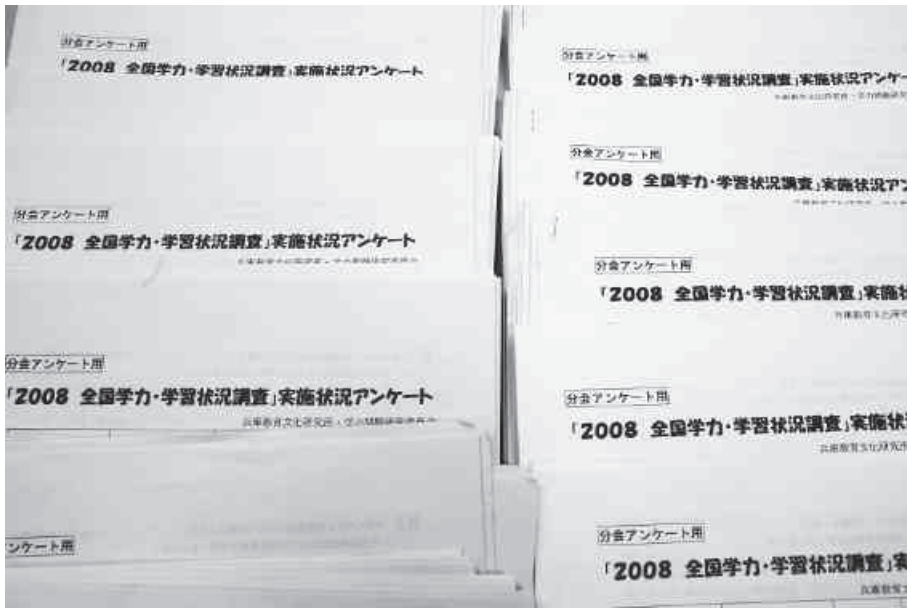
ご退職後の保障も教職員共済で!

年金コース	生活保障コース
おススメプラン 受取期間10年・月額5万円・通増型・据置期間1年	ご契約例 男性・契約年齢60歳・共済金額500万円の場合
一時払掛金 612.9万円	一時払掛金 3,625,850円
10年間の受取総額 648.1万円	生涯の死亡・高度障害保障 500万円
基本年金月額 ※6年目から増えています。	途中で解約したら…
5.0万円	3年(36ヶ月)後に解約
5.0万円	5年(60ヶ月)後に解約
5.0万円	10年(120ヶ月)後に解約
5.0万円	
5.2万円	
5.5万円	
5.7万円	
6.0万円	
6.3万円	

●この広告は各共済の概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。制度内容をご確認ください。

教職員共済生活協同組合兵庫支部
神戸市中央区中山手通4丁目10-8 ラッセホール4階 TEL078-221-9730 承08-56-14(0807)

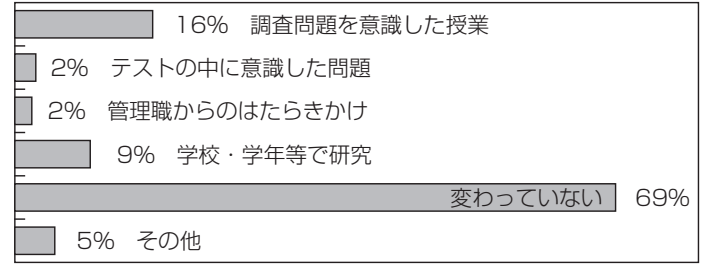
県内各支部、分会の協力を得てアンケートを実施した。



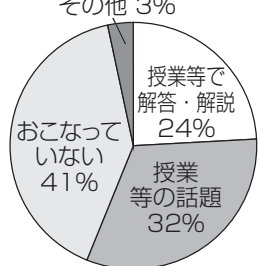
学力調査結果に慎重・冷静な対応を

2008「全国学力・学習状況調査」結果公表・活用状況アンケート結果報告書より

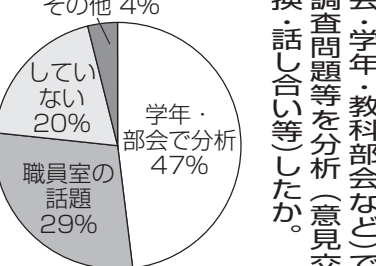
2008年4月、2年次の「全国学力・学習状況調査」が実施され、同年8月末にその結果が文部科学省より提供・公表された。わたしたちはこれまで、様々な機会を通じて、この調査の実施にともなう課題について議論を深めるとともに、調査結果の慎重な取り扱いをもとめるとりくみをすすめてきた。一部府県の自治体は市町村・学校ごとの平均正答率の公表・開示への動きが加速、今後の対応を誤れば学校間の競争・序列化につながり、本来の教育のあり方が歪められていくことが危惧される。兵庫教育文化研究所は、結果公表に関わる課題をあらかじめ、今後のとりくみの参考とするため、本アンケートを実施した。この報告をもとに、学力調査の課題、さらには学力問題についても討議を深め、学校現場から発信する教育改革を実現していこう。



実施前と比べ、普段の授業指導内容等は、変わったか。
【複数回答可】

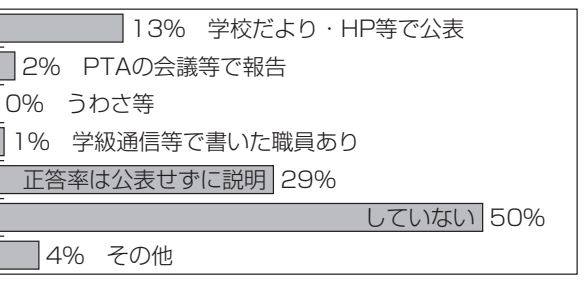


調査実施後、学校(研究委員会・学年・教科部会などで調査問題を分析(意見交換・話し合い等)したか。
【複数回答可】

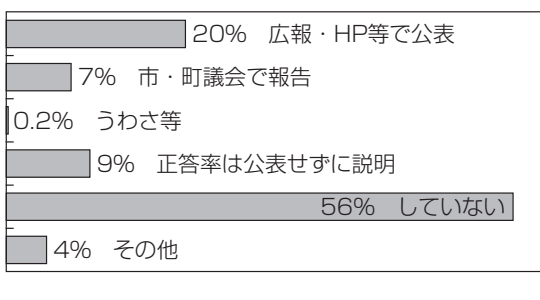


結果公表
市・町(教育委員会)は、地域住民等に対して結果を公表したか。
【複数回答可】

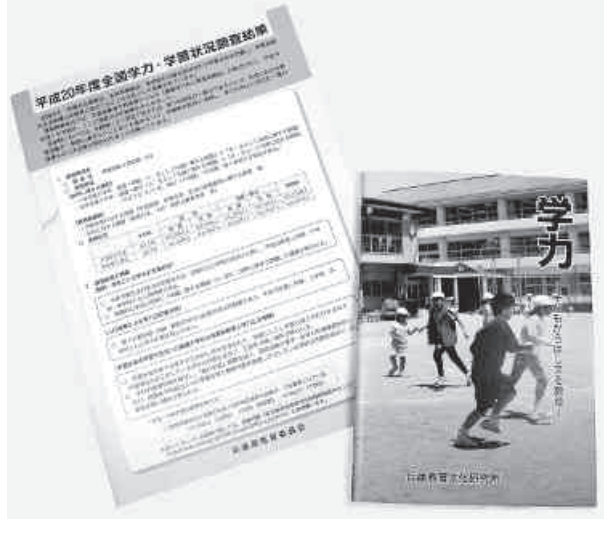
5市が教科ごとの平均正答率(予定含む)を公表。「していない」の回答は、1年次より(市町)72↓56%、学校65↓50%(%)に減少し、調査結果の概要や分析内容の説明をおこなう動きが広がっている。学校単位の平均正答率の公表はおこなわれていない。



学校(校長)は保護者等に対して結果を公表したか。
【複数回答可】



結果の扱い
市・町で研究委員会、学校で結果の分析や活用の具体的な動きはあるか。
【複数回答可】



学力問題研究委員会 研究のまとめ「学力-子どもからはじまる教育-」の提言や兵庫県教委リーフレット「平成20年度全国学力・学習状況調査結果」の分析を生かすとりくみを

めどず学力を見失わず、ゆたかな学びを保障する実践を

わたしたちは、悉皆学力調査の問題点やその結果公表のあり方について今後、議論を深め、「全国学力・学習状況調査」(2008年)の結果公表について、1年次同様「序列化の恐れがある」「過度の競争につ

12月)の分析も生かしながら、学力問題を生活実態との関連からとらえる視点で読みとっていく姿勢が必要だ。

しばしば学力問題の本質から離れたところで、結果公表の是非や正答率の数値のみを根拠に学力保障のとりくみのあり方が問われている。これに対し、わたしたちはこれまで積み上げてきた「子どもの実態を深く見つけ、ゆたかな学びをすべての子どもに保障する」実践をさらにすすめていくことにより、答えを示していかなければならない。

結果の分析・活用、公表、学力調査実施現状と課題

結果の分析や活用
研究委員会の設置への動きは1年次と同様で、約半数の学校が分析・活用に向けたとりくみをおこなっている。

分析の方法やその活用には、戸惑いや疑問の声も見られる。学力に関する研修が増える一方、とりくみを支援するための条件整備がすすんでいない現状が指摘されている。

学力調査の実施
学力調査そのものの意義に疑問を呈する声・悉皆でなく抽出による調査をもとめる声・調査にかかる予算の見直しをもとめる声が多い。その一方で、「悉皆で実施する以上は、児童・生徒に配慮しつつ調査結果の活用方法を探っていく必要がある」という指摘もある。

結果の公表
結果公表については、1年次同様「序列化の恐れがある」「過度の競争につ

うれしかったほんよみ
揖保郡龍田小学校 一年 玉田 ゆうな

あのね。きょうは、いえにかえると、おかあさんがいたよ
おしごとやすみだったんだって。だから、うれしくてなんかいも ほんよみをしたよ。
ほんよみすると、おかあさんもまねをしたよ。こえもそっくりだったよ。
たのしいほんよみだったよ。

(いづもの詩と絵第28集より)

厚生会会員の皆さんへ最新情報をお知らせします。 Aflac

生活習慣病の実態!!

●主要疾患の総患者数

がん(悪性新生物)	1,423,000人
糖尿病	2,469,000人
高血圧性疾患	7,809,000人
脳血管疾患	1,365,000人

厚生労働省「平成17年 患者調査」

医療費等の自己負担も増加しています。

過去1年間に入院した人の1日あたりの入院自己負担費用の平均額

平成13年度(2001年)	12,900円 ^{※1}	平成16年度(2004年)	15,200円 ^{※2}	平成19年度(2007年)	22,700円 ^{※3}
---------------	-----------------------	---------------	-----------------------	---------------	-----------------------

6年間で9,800円のアップ

上記金額は、食事代・差額ベッド代等を含む、高額療養費制度による払戻し前の平均

※1 平成13年度 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」
※2 平成16年度 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」
※3 平成19年度 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」

●神戸・阪神(西宮・芦屋・伊丹・川西・猪名川)
0120-21-5184
(株)ジャパンファミリー
神戸市中央区海岸通8神港ビル216

●阪神(尼崎・宝塚)・中播・但馬・淡路
0120-65-0009
(株)エイフ
西宮市甲風園1-5-18杉本ビル2F

●東播・北播・西播・丹波
0120-15-2838
伊藤育興産(株)
神戸市東灘区甲南町2-1-24ワコレ甲南1F

学校厚生会ではアフラックの保険について団体取扱(団体割引)を適用できます。

団体取扱いへの変更希望など、アフラックの保険に関するご相談事項がございましたら、各担当代理店までお気軽にお問い合わせください。
(有)学校厚生会